



ひびき

Letter of the M.Y. elementary school
南山田小学校だより

～ ともだちいっぱい かがやく子 ～

学校通信 NO.340
令和6年度 12月号
令和6年11月29日

『モルック体験会』を通じた学び

校長 鈴木 智彦



「モルック」というスポーツをご存じですか？

今、5・6組の子どもたちは生活科・総合的な学習の時間の活動として「モルック」に取り組んでいます。「モルック」とは、フィンランドで開発されたスポーツで「モルック」という棒を投げ、「スキttl」というピンを倒し、点数を競います。

ボーリングとカーリングを合わせたようなイメージかもしれません。

9月、子どもたちはこのスポーツを通して、日本ユニバーサルモルック協会会長の山口順さんに出会いました。そして、一緒に楽しむだけでなく「たくさんの人にモルックを知ってもらい、モルック仲間を増やしたい!」と全校児童を対象に『モルック体験会』を企画しました。

多くの人に参加できるように低・中・高学年と3日間に分けて計画し、自分たちで参加申込書を作ったり、ポスターで周知したりしました。

1回目の体験会アンケートで「たのしい!」「もっとやりたい!」の回答から手ごたえを感じましたが、回答が思ったほど集まらず、「かんたん」「もうやりたくない」という内容もありショックをうけた子どもたち。2回目は『低学年:投げてみよう 中学年:点数ランキングに挑戦 高学年:試合形式』のように学年によって難易度を変えたり、アンケートも回答しやすい形に改善したりして臨みました。アンケートの形を変えたことで沢山の回答が集まり「『やりたくない』はゼロだよ!」



「『またやりたい』ばかりで嬉しい」「3回ずつだけど一生懸命やってくれた」と喜んでいました。



受付、説明、誘導、進行等の役割を決め、それぞれが自分の責任を果たせば、この企画は「きょうまくいく」との思いから、それぞれが出来ることに一生懸命取り組んだ子どもたち。

「受付がわかりにくい」「みんなまよっちゃうよね」「時間がもっとほしいな」

「休み時間を長くしてもらえるよう校長先生に言おう」

次の課題解決に向け、日々、切磋琢磨しています。